

● SOHO環境をパワーアップ

失敗しない プリントサーバー 購入ガイド

今回は、ネットワーク非対応プリンターを対応プリンターに変えてくれるプリントサーバーを取り上げる。複数のパラレルポートを持つタイプのプリントサーバーを中心にそのメリットや実際の使い勝手、製品紹介などをお届けしよう。塩田紳二



あなたのプリンターがネットワークにつながる

プリントサーバーとは、ネットワークを使ってプリンターを共有するための機器だ。広い意味では、ネットワークにつながっているウィンドウズ95などの動いているコンピュータにプリンターをつないで「共有」できるようにすれば、そのコンピュータは「プリントサーバー」である。しかし、余っているならともかく、コンピュータ1台をプリンター共有のためにだけ使うのはもったいない。そこで登場するのが、「プリントサーバー」専用機である。これは、ウィンドウズ95やNetWare、UNIXなどのネットワークに対応したOSのプリンター共有機能だけを取り出して専用機器としてまとめたもので、価

格的にも3台のプリンターが接続できるもので10万円以下で入手が可能だ。

動作としては、ネットワークから来たリモートプリンター向けのデータをプリントサーバーがプリンターへ送るようになっている。多くのプリンターは、片方向動作、つまり印字データを受け取るだけなので、コンピュータ側でプリンター向けのデータを出力できれば、印刷が可能だ。しかし、双方向にデータのやり取りを行うものについては特別対応が必要となることもある。そのため、一部のプリントサーバーは、「HP(ヒューレット・パッカード)の双方向通信方式」に対応している。しかし、FAXやスキ

ャナー機能などを持つ複合機能プリンターや印刷用のグラフィック処理の一部をコンピュータ側で行うプリンターは、プリントサーバーを介しては使うことができない。

その外観は、コネクタ類と表示LEDがある程度で、設定・管理は、コンピュータ側に機器専用ユーティリティソフトをインストールするか、WWWブラウザなどを使って行う。

プリントサーバーは、NetWareやウィンドウズ、UNIXなどで使われるプリンター共有のプロトコルに対応している。このうち、最も多いのがNetWare対応のリモートプリンター/プリントサーバー機能である。



プリントサーバーを使ってみよう!

プリントサーバーを使うと、ネットワークケーブルが延びているところなら、どこにでもプリンターを設置することが可能になる。また、コンピュータをプリントサーバーとして使う場合と違い、ディスプレイなども必要がなく、設定はすべてネットワークを通して行うことができる。ここでは、プリントサーバーのメリットや設定方法などについて解説する。

① どうして今プリントサーバーなのか

最近では、写真画質のカラープリンターも安価になってきたため、モノクロで文字中心の印刷を行うレーザービームプリンター(LBP)などと併用して利用することも多くなった。また、小さなオフィスでもネットワークの普及により、複数のマシンでこれらを共有できるような環境が必要となっている。

プリンターをネットワークで共有するには、以下の3つの方法がある。

- ① コンピュータのプリンターポートにプリンターを接続してそれを共有する(OSのプリンター共有機能を使う方法)
- ② プリンターにオプションで用意される専用のネットワークインターフェイスボードを組み込んで使う方法
- ③ プrintサーバーを使う方法

①の方法は、余っているコンピュータやサーバー機があるならば有効だが、ほとんどのコンピュータではパラレルやシリアルプリンターポートが1つしかなく、増設するにしてもコンピュータの割込み要求(IRQ)の問題などで難しい。また、コンピュータ本体以外にネットワークカードやディスプレイ、キーボードが必要

で、設置には広いスペースが必要である。しかし、ローカルのハードディスクに印刷データをスプールのできるため、クライアントマシンは、すぐに印刷データによる負荷から解放される。

プリンターに専用ネットワークインターフェイスボードを装着する②の方法は簡易で、設置場所もプリンターが置ける場所であれば、特に問題はない。しかし、意外にこのオプションが高価なのがネックで、またプリンターを換えるとこのボードが使えなくなることが考えられる。そうすると、また専用ボードを買わなければならないので、お金がかかる。

③のプリントサーバーは、最近では安価に手に入り、機器も小型でマジックテープなどでプリンターに装着して利用できるものも多く、設置場所が制限されることもない。また、設定もネットワークを通して行えるため、扱いが簡単である。

プリントサーバーは、内部にファームウェアとして、さまざまなプロトコルに対応したりリモートプリンター機能を持つ。機能としては、ネットワークから来る印刷要求を受け、プリンターインターフェイス(パラレルやシリアル)から出力するというもので、専用機能に徹している分、取り扱いが簡単なハードウェアである。この反面、内蔵のメモリーなどが少なく、あまり大きなデータを内部に保存することができない。このため、クライアントマシンから見

と、あまり高速なデバイスには見えないので、アプリケーションを早く解放させるには、クライアント側でローカルドライブにスプールを行う設定をする必要がある。

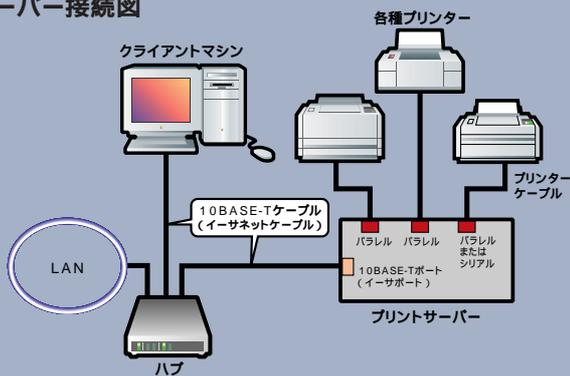
② 場所を選ばず設置できる

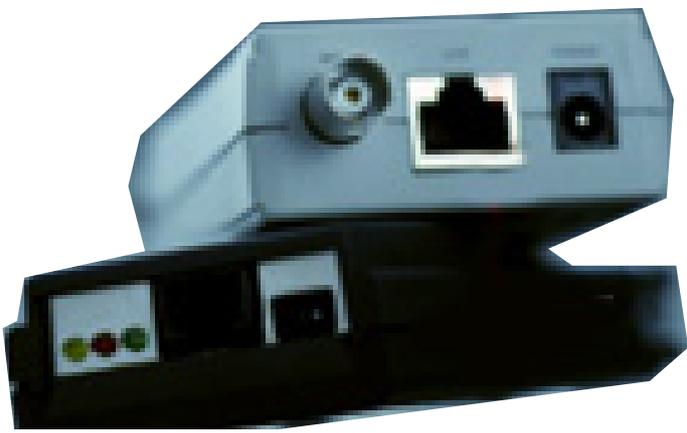
プリンターは、動作音や消費電力の大きなものが多い(特にLBP)ので、プリンターを別の部屋に設置したい。しかし、コンピュータ直結だとケーブル長を長くできないため、結局のところプリンターをコンピュータのそばに置くことになる。だがこの場合、プリントサーバーを使えば、ネットワークケーブルさえ届けば接続が可能で、設置場所にも困らない。

一方、コンピュータをプリントサーバーとして使うと、印字動作によりCPU時間が消費され、場合によってはハードディスクにデータがスプールされる。印字量が多いと、そのマシンでの作業に影響が出る。また、ウィンドウズ95を使ったコンピュータでは、ウィンドウズ95またはウィンドウズNTからのプリンター共有は可能だが、マッキントッシュなどのプラットフォームとのプリンター共有は難しい。

これに対して、多くのプリントサーバーは、TCP/IP上のlpr(UNIXのリモート印刷プロトコル)やAppleTalk、IPX(NetWare)など多くのプロトコルに対応している。

プリントサーバー接続図





接続も簡単

プリントサーバー自体の設置は非常に簡単である。まず、ネットワークとプリンターをプリントサーバーにつなぎ、電源を入れる。多くのプリントサーバーでは、ここで自己診断などが行われ、ネットワークが接続できないなどの物理的な問題があるとLEDを点滅して知らせてくれる。これで問題がなければ、管理を行うコンピュータに管理・設定用ソフトウェアをインストールする。

ウィンドウズ95用のものを選ぶとGUIを使った管理が可能で、なかにはWWWブラウザで設定可能な機種もある。

あとは、共有したいマシンから、プリンターの名前(多くは、デフォルトでプリントサーバーが勝手に付ける)を使ってリモートプリンターの設定をそのOSのやりかたで行う。ウィンドウズ95の場合には、プリンターフォルダの下の「プリンタの追加」アイコンで行う。なお、プリントサーバーによっては、クライアント側に専用のソフト「リダイレクター」を組み込む必要のあるものもある。これは、そのプリンターの設定の前に行っておく。

プリンターのインストールが終わったら、ためにテスト印字を試みる。このとき、プリンターの動作パネルなどでエラーなどが出ていることを確認しよう。

テスト印字が正常に終了すれば、あとは普通のプリンターのように利用すればよい。ネットワークプリンターだからといって特に違いはない。なお、ネットワークで共有する場合には、特殊な用紙を一時的に使いたいときには、他のユーザーに声をかけるなど、注意が必要である。宛名ラベルを作ろうとシール用紙を入れたら、誰かが文書を印刷してしまったという事故は、結構多いようである。



専用管理ソフトや

WWWブラウザで設定

通常、プリントサーバーは簡単に使えるようにデフォルトの設定値を持っており、専用の管理ソフトで設定をするだけで、すぐに使えるようになる。本体のシリアル番号を使った名前などが付いており、同種のプリントサーバーを複数台使っても、衝突しないような設定値が使

われていることが多い。

設定の細かい部分は機種によって違うが、NetBEUIでは、プリントサーバーの名前や説明文を設定し、lprでは、IPアドレスやネットマスクなどを設定する。また、IPXでは、プリンター名のほかNetWareサーバー上にキューを作るなどの作業を必要とする場合がある。

そのほか、ウィンドウズNTサーバーを使っているなどの、ちょっと高度な管理を行っているオフィスでは、一般ユーザーがプリンターを管理できない部分があるので、その場合は管理者と相談してほしい。プリントサーバーによっては、設定機能の実行にIPX互換プロトコルが必要な機種もあるので、その際にはウィンドウズ95のインストールCDを使ってIPX互換プロトコルをインストールする。

また、プリントサーバーの制御に使うプロトコルとダイアルアップアダプターがバインドされているときには、プリンターを見つけれないことがあるので注意したい。

ネットワーク内にダイアルアップルーターなどが存在する場合、制御ソフトがプリントサーバーを探すための動作で発信が行われることもあるので、ルーターのフィルター機能などで発信を抑えるようにする必要がある。このようなときは、ネットワーク管理者と話し合いのうえで設置しなければならない。

1ポートプリントサーバーの使い道

今回紹介したもの以外に、プリンターポートが1ポートで、10BASE-Tのみに対応した簡易なプリントサーバーもある。これらは、個人でデスクトップとノート機を持っているなどの場合やコンピュータが2、3台程度のオフィスなら、十分利用価値がある。このタイプのプリントサーバーは、プリンターのオプションとして各メーカーが出しているイーサネットインターフェイスボードより安価であることが多い。

また、プリンターは複数台あるが、設置場所をそれぞれ別にして使いたいといった場合や、コンピュータと同じ室内で使うが、距離的にプリンターケーブルでは接続が難しいといった場面でも利用できる。

今回使用したプリンターはこれだ!

今回テストに利用したプリンターは、エプソンの最新カラープリンターPM-750Cである。一般に普及しているインクジェットプリンターも、それ自身はネットワークに対応していないが、プリントサーバーを使うと簡単にネットワークに接続できてしまう。そこで、双方向パラレルインターフェイスとマッキントッシュ用のシリアルインターフェイスを持っているプリンターをテストに使用した。

この製品は、最大1440dpi高解像度に加



え、高画質なカラー印字が可能、デジタルカメラなどで撮影した自然画の印字などにも向いている。また、自然画などを高品位に印刷するためのAI画像処理機能を備えている。



プリントサーバーの選びかた

プリントサーバーといってもさまざまな種類があり、サポートする機能もまたいろいろである。ではどんなプリントサーバーを選んだらいいのだろうか。ここでは、環境に応じたプリントサーバー選択のポイントについて解説する。

1 対応プロトコル

まず、第一の選択ポイントは、現在使っているネットワークのプロトコルである。比較的ポピュラーなプロトコルとしては、TCP/IP、IPX、NetBEUI、AppleTalkなどがあるが、このうちどれを使っているか、プリンター共有を行うべきプロトコルはどれになるのが問題になる。基本的には必要なプロトコルをサポートしているプリントサーバーを使うことになるのだが、サーバーOSとしてウィンドウズNTやNetWareを使っている場合には、他のプロトコルの中継機能を使うことで対応できる場合がある。たとえば、ウィンドウズNTサーバーやNetWareは、AppleTalkをサポートしており、プリントサーバーが直接AppleTalkをサポートしていなくても利用可能である。また、ウィンドウズNTでは、lprを使った接続も行える。これらのネットワークOSがない場合、もし、マッキントッシュを使うのならAppleTalkを、UNIXマシンを使うならTCP/IP機能を持つ

プリントサーバーが必要となる。また、ウィンドウズ95のみであれば、NetBEUI対応またはNetBIOS on TCP/IPが可能な製品を選ぶ必要がある。

2 ネットワークインターフェイス

もう一つ重要なのは、ネットワークの配線タイプである。10BASE-5、10BASE-2、10BASE-Tでそれぞれコネクタが違っている。小規模なオフィスでは、BNCインターフェイスの10BASE-2またはRJ-45インターフェイスの10BASE-Tを使うことが多く、10BASE-2や10BASE-5を使っているときに10BASE-Tの機器を接続するには、ハブを用意する必要がある。プリントサーバーは10BASE-T対応のものが多く、一部10BASE-2をサポートしているものもある。

また、100Mbpsをサポートする100BASE-

TXや100VG-AnyLANの場合には、それぞれに互換性がないため、対応したプリントサーバーを用意しなければならない。

3 付加機能

このほかに、接続したいプリンターに見合ったインターフェイスの種類と数があることも重要である。多くの場合、パラレルポートがあれば足りるが、マッキントッシュ用プリンターなどでは接続にシリアルインターフェイスが必要になることもある。一部のプリンターでは、接続に双方向のパラレルインターフェイスが必要な場合もあるが、プリントサーバーでは双方向対応と言ってもHP互換方式(ヒューレット・パッカード社のプリンターと互換性のあるパラレルポートにおける双方向通信)しか持っていないものがある。購入する際には、プリントサーバーのカatalogueで対応プリンターリストを確認しておこう。

プリントサーバー主要機能一覧(各社上位機種)

製品名	AXIS PrintPoint 560/100	HP JetDirect EX Plus3 (J2590A)	LANpress3P/100	NetportExpress PRO/100	SMART PRINT FP3-5DW-T	SOHO ware Print PN-NPS13C	Fastport-100
メーカー	アクシスコミュニケーションズ(株)	日本ヒューレット・パッカード(株)	(株)マクニカ	インテル(株)	ブラネットコミュニケーションズ(株)	富士通オフィス機器(株)	英国リングデール社
問い合わせ	03-3545-8282	03-3335-8333(東京) 06-838-1155(大阪)	045-939-6155	0298-47-0800	0120-415-976	045-212-4366	(株)理経 03-3345-2189
標準価格	¥78,000	¥98,000	¥95,000	¥78,000	¥58,000 (キャンペーン価格)	¥35,800	¥57,000
実勢価格	¥60,000	-	¥76,000	¥60,000	¥49,000	¥28,000	-
プリンターインターフェイス	パラレル×2 シリアル×1	パラレル×3	パラレル×3	パラレル×2 シリアル×1	パラレル×3	パラレル×1	パラレル×1
ネットワークインターフェイス	10BASE-T 100BASE-TX	10BASE-T 100VG-AnyLAN	10BASE-T 100BASE-TX	10BASE-T 100BASE-TX	10BASE-T 100BASE-TX	10BASE-T/2	10BASE-T 100BASE-TX
通信方向	双方向	双方向	双方向	双方向	単方向	単方向	単方向
設定方法	AXIS NetPilot, WWW AXIS Print Utility	HP JetAdmin, Web JetAdmin O/S内蔵ユーティリティ	MPADMIN, MPCONFIG O/S内蔵ユーティリティ	Netportマネージャ TELNET, WebNetportマネージャ	SMART PRINT MANAGER	SOHO ware Print Manager	Printset, WWW Internet Printing System
設定ユーティリティが使えるOS	NetWare, Windows 95 LAN Server/LAN Manager	DOS, UNIX Windows 3.1, 95, NT	NetWare, DOS Windows 3.1, 95, NT	Windows 3.1J, 95, NT NetWare, NetBIOS	Windows 3.1, 95, NT NetWare	Windows NT	Win3.1, 95, NT UNIX, MACすべて
対応プロトコル	TCP/IP, IPX/SPX SAP, NCP, LIP NetBIOS, NetBEUI AppleTalk	TCP/IP IPX/SPX DLC/LLC	TCP/IP IPX/SPX NetBEUI	TCP/IP, IPX NetBEUI AppleTalk	TCP/IP, IPX/SPX NetBEUI AppleTalk	TCP/IP	TCP/IP, IPX/SPX NCP/IPX, UDP/IP NetBEUI, LAT, DLC (AppleTalk)
ファームウェアの更新		(NIFTYServeでも可)					
更新は無料		(ユーザー作業の場合)	(ユーザー作業の場合)				



すぐに役立つプリントサーバーラインアップ

ウィザード形式で設定が簡単

AXIS PrintPoint 560/100

アクシスコミュニケーションズ(株) ¥78,000

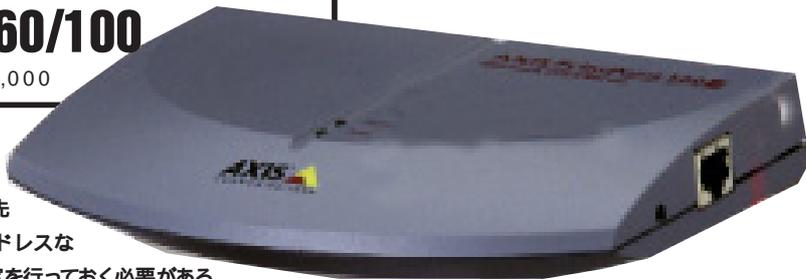


AXISのPrintPoint 560/100は、2つのパラレルポートと1つのシリアルポートを持つプリントサーバーである。ネットワークインターフェイスは、10BASE-Tおよび100BASE-TXに対応している。

管理ソフトウェアは、IPXまたはNetBEUIで動作する。メニューなどは英文のままであるが、付属のマニュアルが日本語化されているため、設定などは特に問題はないと思われる。また、WWWブラウザを使っての設定も可能である。

ただし、この場合には先にIPアドレスなどの設定を行っておく必要がある。

また、NetBEUIの場合、各クライアントにリダイレクターが必要だ。これはユーティリティ形式になっており、使用時にはプログラムを起動しておく。



寸法 : 155(W) x 120(D) x 25(H) (mm)
問い合わせ : 03-3545-8282
URL : http://www.axiscom.co.jp/u-home/u-seihin/ax560_100.htm

Product Showcase



製品群

AXIS 540

¥49,500



AXIS 540+

¥61,200

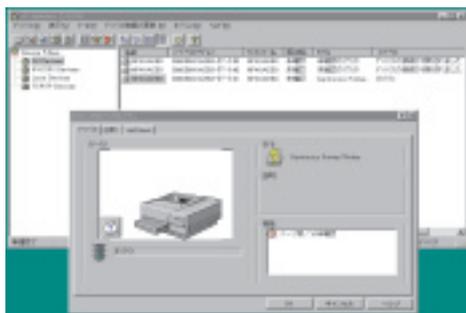


AXIS 560

¥74,800



このほかTokenRing対応のAXIS 660など9種類の製品がある。



上はHP JetAdminの設定画面

プリンターメーカーの製品で管理が簡単

HP JetDirect EX Plus3

J2590A Ethernet 10/100VG

日本ヒューレット・パッカード(株)

¥98,000

JetDirectは最大3つのパラレルポートを持つプリントサーバーシリーズで、ネットワークインターフェイスに10BASE-Tと10BASE-2、10BASE-Tと100VG Any-LAN、TokenRingに対応した3機種がある。今回は、10BASE-Tと100VG Any-LANに対応したJ2590Aを取り上げる。

対応プロトコルはIPXとTCP/IPで、TCP/IPでは、NetBIOS over TCP/IPをサポートしてい

るため、ウィンドウズ95からの印刷も可能である。TCP/IPを使う場合、JetDirectのIPアドレスは、bootpやDHCP(NTサーバーなどが持つ、IPアドレスを自動で割り当てる機能)で取得するか、もしくはIPXで接続して管理プログラムから設定を行う必要がある。

なお、「Web JetAdmin 3.0」を使うとWWWブラウザからの設定・管理も可能になる。



マーク説明

- パラレル 2: パラレルポート2つ
- 10/100 TX: 10BASE-T/100BASE-TX対応
- 10-T/2: 10BASE-T/10BASE-2対応
- 対応プロトコル
- シリアル 1: シリアルポート1つ
- 10/100 VG: 10BASE-T/100VG-AnyLAN対応
- 10-T: 10BASE-T対応

ウィンドウズ95用のリダイレクターが付属

LANpress 3P/100

(株)マクニカ ¥95,000

米国CASTELLE社開発のプリントサーバー。日本ではマクニカが販売している。管理ツールはメニューなどが英語のままだが、マニュアル類は日本語のものが付属する。

IPX(NetWare)、TCP/IP(Pr)、NetBEUIに対応している。IPXベースで動くウィンドウズ95/NT用のGUI管理ツールが付属する。

ウィンドウズ95/NTでプリンターを使うマシンには、リダイレクターのインストールが必要である。

このリダイレクターには、TCP/IPベースのもの、NetBEUIベースのものがあり、環境に応じて使い分けることができる。

パラレルポートが3つあり、ネットワークインターフェイスは、10BASE-T/100BASE-TXに対応している。



- パラレル 3
- シリアル
- 10/100 TX
- TCP/IP
- IPX
- Net BEUI
- Apple Talk

寸法 : 220(W)×130(D)×25(H)mm
問い合わせ : 045-939-6155
URL : <http://www.net.macnica.co.jp/product/castelle/print/c-lanp00.htm>

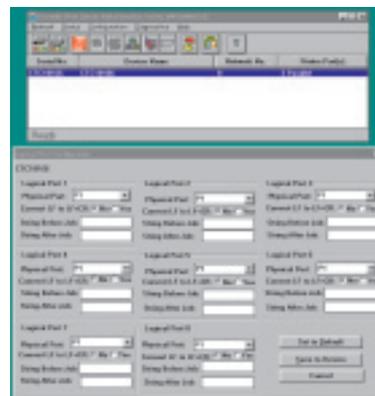
製品群

LANpress1P/100 ¥77,000

- パラレル 1
- シリアル
- 10/100 TX
- TCP/IP
- IPX
- Net BEUI
- Apple Talk

LANpress2P/100 ¥92,000

- パラレル 2
- シリアル
- 10/100 TX
- TCP/IP
- IPX
- Net BEUI
- Apple Talk



上はLANpress設定画面。インテル(株)のSMART PRINTも同じものである



製品群

HP JetDirect EX Plus Ethernet J2591A ¥39,800

- パラレル 1
- シリアル
- 10-T/2
- TCP/IP
- IPX
- Net BEUI
- Apple Talk

HP JetDirect EX Plus3 Ethernet J2593A ¥69,800

- パラレル 3
- シリアル
- 10-T/2
- TCP/IP
- IPX
- Net BEUI
- Apple Talk

このほか、TokenRing対応のパラレル3ポート製品J2594Aがある。

寸法 : 279(W)×120(D)×37(H)mm
問い合わせ : 03-3335-8333(東京)
06-838-1155(大阪)
URL : <http://www.jpn.hp.com/CPO/PCPCS/prtsrv/>



管理が容易で、大規模ネットワークにも対応

NetportExpress PRO/100 3ポート版

インテル(株) ¥78,000

- パラレル 2
- シリアル 1
- 10/100 TX
- TCP/IP
- IPX
- Net BEUI
- Apple Talk

寸法 : 184(W) × 130(D) × 32(H) (mm)
 問い合わせ : 0298-47-0800
 URL : <http://www.intel.co.jp/jp/comm-net/network/products/np/nppro100.htm>

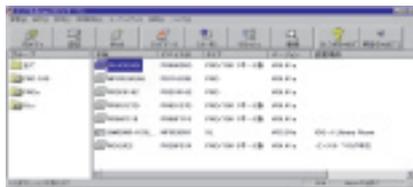


また「Web Netport マネージャ」を使うと、WWW ブラウザーでの設定も可能である。

この製品は、2つのパラレルポートと1つのシリアルポートを持っている。IPX(NetWare)、Net BEUI、TCP/IP (Ipr と NetBIOS over TCP/IP)、AppleTalk に対応している。ネットワークインターフェイスは、10BASE-T と 100BASE-TX に対応した RJ-45 コネクタを持つ。

付属の管理ソフトは、プリンターをグループ分けして管理できるもので、多数のプリントサーバーを同時に管理することも考慮されている。

設定時に、Net BEUI がダイアルアップアダプターにバインドされていると NetPort を見つけることができなかったが、バインドをやめるときちんと動作した(マニュアルにも記述がある)。



上は Netport マネージャの設定画面

製品群

NetportExpress PRO/100 1ポート版 ¥58,000

- パラレル 1
- シリアル
- 10/100 TX
- TCP/IP
- IPX
- Net BEUI
- Apple Talk

NetportExpress PRO イーサネット版(10 Mbps 版) ¥78,000

- パラレル 2
- シリアル 1
- 10-T/2
- TCP/IP
- IPX
- Net BEUI
- Apple Talk

このほか、TokenRing 対応のパラレル2ポートとシリアル1ポートを持つ製品がある。

Product Showcase

小型で場所を取らないが、NTサーバーが必要

SOHO ware Print PN-NPS13C

富士通オフィス機器(株) ¥35,800

- パラレル 1
- シリアル
- 10-T/2
- TCP/IP
- IPX
- Net BEUI
- Apple Talk

PN-NPS13Cは、超小型の1ポートタイプのプリントサーバーである。これは、プリンターのコネクタに直接装着するもので、筐体の片側がパラレルポート、もう一方にネットワークコネクタが出ている。ネットワークインターフェイスは、10BASE-T と 10BASE-2 となっており、ネットワーク関連の表示LEDは、筐体の上面に配置されている。

サポートしているプロトコルは、TCP/IP (Ipr) のみである。このため、ウィンドウズ95から利用する場合には、Ipr を使っていったんウィンド

ウズNTのプリンターとして接続してから、それを共有する必要がある。

TCP/IPでの設定は、arp コマンドでMACアドレスとIPアドレスを対応させ、ping コマンドを使う方法と、付属のsetip コマンドを使う方法が用意されている。

寸法 : 56(W) × 90(D) × 27(H) (mm)
 問い合わせ : 045-212-4366
 URL : <http://www.fom.co.jp/>



製品群

PN-NPS11T ¥21,800

- パラレル 1
- シリアル
- 10-T
- TCP/IP
- IPX
- Net BEUI
- Apple Talk

これはサーバーがなくても手軽に利用できる低価格製品だ。



マーク説明

パラレル 2	パラレルポート2つ	シリアル 1	シリアルポート1つ
10/100 TX	10BASE-T/100BASE-TX対応	10/100 VG	10BASE-T/100VG-AnyLAN対応
10-T/2	10BASE-T/10BASE-2対応	10-T	10BASE-T対応
対応	対応プロトコル		

ウィンドウズ95からの接続も簡単

SMART PRINT FP3-5DW-T

プラネットコミュニケーションズ(株) ¥58,000(キャンペーン価格)

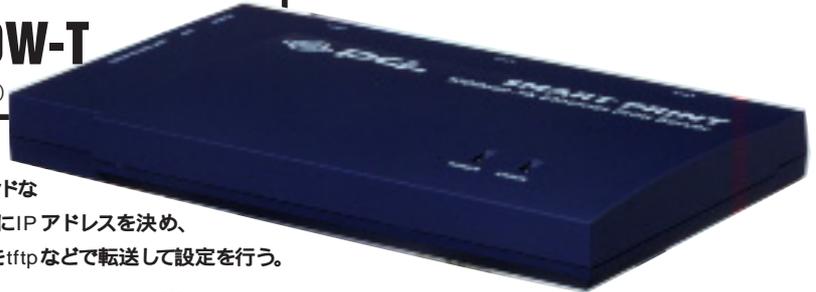
SMART PRINTは、3つのプリントポートを持ったプリントサーバーである。IPX(NetWare)、NetBEUI、TCP/IP(Iprなど)、AppleTalkに対応している。

ネットワークインターフェイスは、10BASE-Tおよび100BASE-TXに対応しており、RJ-45コネクタが装備されている。ウィンドウズ95から利用する場合には、付属のリダイレクターを使うとNetBEUIもしくはTCP/IPでの接続が可能になる。

設定ソフトは、前述のLANpressのものと同じで英語版のままであるが、マニュアルなどは日本語のものが付属する。

TCP/IPを使う場合、IPXプロトコルを入れ、付属のWPCONFIGプログラムを使ってプリントサーバー側のIPアドレスなどの設定を行うか、コ

マンドレベルで、arpコマンドなどを使って仮にIPアドレスを決め、定義ファイルをtftpなどで転送して設定を行う。



寸法 : 231(W)×136(D)×28(H)mm
 問い合わせ : 0120-415-976
 URL : http://www.planetcom.co.jp/product/print_j.htm

製品群

SMART PRINT MINI MPS-P-T

¥19,800



SMART PRINT MINI MPS-5DW-2T

¥29,800



SMART PRINT PS-5DW-2T

¥52,800



価格はすべてキャンペーン価格。

小型だが、ウィンドウズ95単独ではオプションソフトが必要

Fastport-100

英国リングデール社

¥57,000

Fastport-100は、プリンターのコネクタに直接装着するコンパクトタイプの1ポートプリントサーバーである。ネットワークとしては、10BASE-Tと100BASE-TXをサポートしており、プリンターコネクタの反対側にRJ-45コネクタが装備されている。感じとしては、タバコの箱ぐらいの大きさのものだ。ただ、付属の電源アダプターは大きく、本体の倍以上ある。

IPX、TCP/IP、AppleTalkに対応しており、OS/2 LAN Manager/LAN Serverと併用してNetBEUIが利用できる。ウィンドウズ95で使う場合、別途ライセンスを購入して、ウィンドウズ95でIprを使うプログラム「Internet Printing

System」を組み込むか、IprでウィンドウズNTと接続し、そのプリンターをウィンドウズ95で共有する必要がある。「Internet Printing System」のライセンスの購入は、商品同封の用紙に記入の上、FAXで受け付けている(1ライセンス1,050円)。

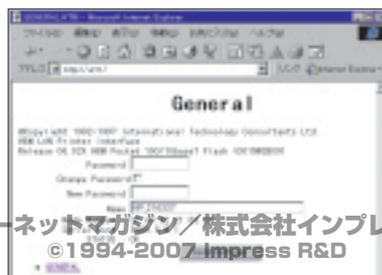
寸法 : 115(W)×65(D)×30(H)mm
 問い合わせ : (株)理経 03-3345-2189
 URL : <http://www.rikei.co.jp/>



製品群

Printpro 97

¥32,500





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp